

鳴き砂の復活を願いながら流木やゴミを拾う参加者たち。



鳴き砂を取り戻すために

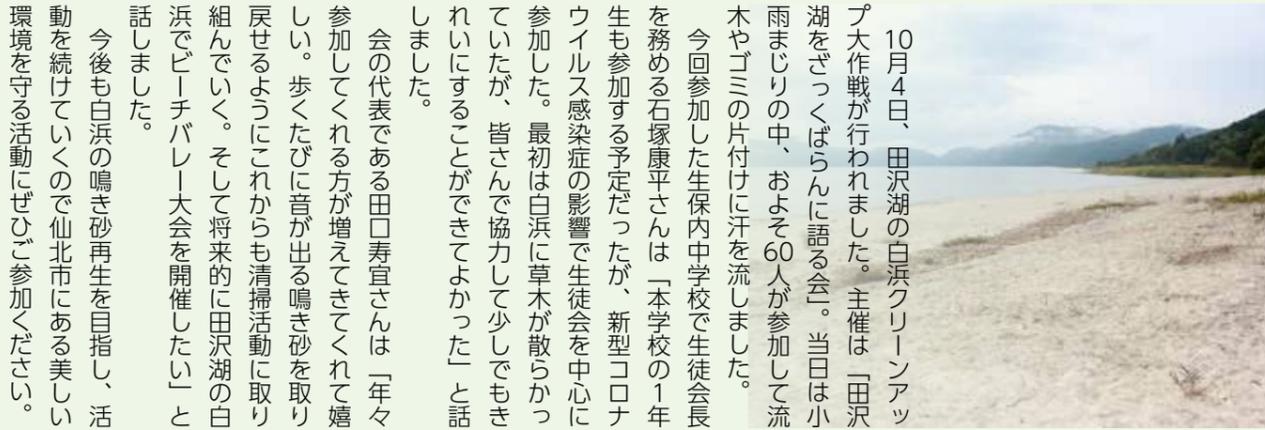
田沢湖の白浜クリーンアップ大作戦

10月4日、田沢湖の白浜クリーンアップ大作戦が行われました。主催は「田沢湖をぞつくばらん」に語る会。当日は小雨まじりの中、およそ60人が参加して流木やゴミの片付けに汗を流しました。

今回参加した生保内中学校で生徒会長を務める石塚康平さんは「本校の1年生も参加する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で生徒会を中心に参加した。最初は白浜に草木が散らかっていたが、皆さんで協力して少しでもきれいにすることができてよかった」と話しました。

会の代表である田口寿宜さんは「年々参加してくれる方が増えてきてくれて嬉しい。歩くたびに音が出る鳴き砂を取り戻せるようにこれからも清掃活動に取り組んでいく。そして将来的に田沢湖の白浜でビーチバレー大会を開催したい」と話しました。

今後も白浜の鳴き砂再生を目指し、活動を続けていくので仙北市にある美しい環境を守る活動にぜひご参加ください。



10月2日は秋田県温泉の日

温泉関係者が秋田市内でPR



10月2日、秋田県温泉の日をPRしようと、湯めぐり号が乳頭温泉郷を出発、JR田沢湖駅を經由し秋田市に向かいました。

秋田県温泉協会は、新型コロナウイルス感染症の影響で元気を失っている事業者を盛り上げ、本県の温泉を広くPRしようと10月2日を「秋田県温泉の日」と決めました。

現在の天皇陛下が学習院中等科の修学旅行で玉川温泉を訪問されたのが昭和49年の同日。また、湯（とう・10）治（じ・2）の語呂合わせから、この日にしたとのこと。

制定を記念して、同協会会員などが乳頭温泉郷湯めぐり号で秋田市内を周回しPRしました。

皆さんもこれから記念日を、市内の温泉を楽しみながら体を癒し、健康づくりを見直す機会にしてみてもはいかがでしょうか。

生涯学習奨励員がせんぼく校の子どもたちと巻きずし作りに挑戦!

できあがりイメージしながら具材を置いていきます。

慎重に巻いて…できあがり気分になります。

10月9日、生涯学習活動を支援する生涯学習奨励員10人が、大曲支援学校せんぼく校小学部を訪問し、一緒に巻きずし作りを行いました。

これは、せんぼく校の地域の方々とふれあいながら料理や民謡など地域の文化を学ぶ学習「ふれあい・たいむ」の一環で、今回は食べることが大好きな小学部8人が、切ると花模様になる飾り巻きに挑戦。普段から郷土料理の指導を行う千田ミワさんを講師に、奨励員が児童一人ひとりに丁寧に教えながら作り上げていきました。

ご飯を敷いたり食材を置く位置が複雑だったりと苦戦しながらも、切った

ときに花模様がでてくると「きれい」「上手だね」との声が。自分の好きな具材を入れたので、一つひとつ個性が出ています。

講師を務めた千田さんは「みんな上手だった。喜んで楽しそうに巻いていたのでよかった」と話しました。

巻きずしは作るのも食べるのもはじめてという6年生の伊藤新さんは「ご飯を巻くところが大変だったけど、頑張って作りました。できたのを見てきれいでした」と、自分で作った巻きずしをおいしそうに食べながら話してくれました。

作り始めから試食まで子どもたちと奨励員の会話や笑顔があふれる楽しい時間となり、交流を深めた様子でした。

ぜひ体験してみてね!

JR田沢湖駅にトリックアートが出現!

2階から撮影すると立体的に見えます。

このたび、JR田沢湖駅構内に辰子姫と八郎太郎の伝説をモチーフにしたトリックアートが描かれ、地元の利用客や観光客の目を楽しませていきます。

人間の目の錯覚を利用するトリックアート。田沢湖駅1階の交流ホールの床面に描かれたトリックアートは、辰子姫と八郎太郎を表す龍とたつこ像や御座石神社など田沢湖周辺のスポットなどを七つの玉としてちりばめ、2階から写真を撮るとそれらが立体的に写るといふものです。

光客などに目的に行く前にトリックアートを体験し、イメージしていただくことで高揚感やワクワク感を味わって欲しい。ぜひ田沢湖駅に「家族でお越しいただき、お楽しみいただければ」と話しました。



この機会に台湾を感じてみてください!



田沢湖・澄清湖の姉妹湖協定や、玉川温泉・北投温泉の温泉協定をはじめ、深く仙北市と繋がってきた友人・台湾の商品販売コーナーを開始しました。
仙北市国際交流員の台湾人・黄敏さんのイチ押し商品ははじめ、お菓子やジュースなどの飲食品から、バッグ、ポーチ、テーブルマット、ポストカードやバッチなど、かわいらしい雑貨類も多数取り揃えています。
台湾との交流経緯や写真なども掲示していますので、ぜひともお立ち寄りください!

台湾商品販売コーナーをスタート!

場所	期間
田沢湖ハーブガーデン ハートハーブ	令和3年3月31日(休)まで ※11月9日(月)～12月31日(休)の冬季休業期間は「食彩 町家館」に移設(延長の可能性あり)
食彩 町家館	11月9日(月)～12月31日(休)の予定(延長の可能性あり)

第15回 仙北市ソフトテニス大会

9月28日、太田テニスコート(大仙市)で第15回仙北市ソフトテニス大会が開催され、36ペア総勢72人が参加しました。参加者は、はつらつとプレーし大会は大いに盛り上がりました。結果は右記のとおり。(敬称略)



終了後に参加者の皆さん。

第1部
優勝 武蔵・高橋ペア (角館クラブ・田沢湖クラブ)
第2位 新山・鈴木ペア (角館クラブ・同)
第3位 鬼川・佐藤ペア (大曲農高・雫石高)

第2部
優勝 澤山・猪本ペア (西木クラブ・角館クラブ)
第2位 高橋・千葉ペア (田沢湖クラブ・同)
第3位 金田・武藤ペア (生保内中・同)

第3部
優勝 小室・澤山ペア (牛島小・西明寺小)
第2位 熊谷・松田ペア (田沢湖クラブ・同)
第3位 川治・佐藤ペア (角館中・同)



郵便局長会仙北北部会の石川部会長(左)から受け取る門脇市長(右)。



子どもたちの教育環境充実に 郵便局長会仙北北部会が寄贈

10月6日、郵便局長会仙北北部会より、ノータッチディスプレイ(非接触型自動手指除菌消毒器)12台および消毒液一式を寄贈いただきました。
3月に日本郵便株式会社と包括連携に関する協定を締結したことをきっかけに郵便局長会仙北北部会では子どもたちになにかできることはないかと思ひ、今回の寄贈に至ったそうです。
今回の寄贈にあたって同部会の石川博之部会長は「コロナ禍で児童生徒の皆さんが少しでも安心して学校生活を送れる一助になれば嬉しい」と話しました。
寄贈された一式は市内の小・中学校に配布されました。

善意ありがとうございます

防犯功労者表彰式・全国地域安全運動合同パトロール出動式



角館高校飾山囃子部の部員たちが特殊詐欺などの被害防止を呼びかけました。(写真はタカヤナギワンダーモール店の様子)

10月12日、角館榊細工伝承館で全国地域安全運動へ向けた合同パトロール出動式が行われました。
出動式には仙北市防犯協会支部会員や警察などの関係者が出席、安全安心な地域づくりを誓いました。また、角館高校飾山囃子部が踊りを披露し、出動を激励しました。
終了後には、タカヤナギワンダーモール店とよねや角館店で関係者や同校飾山囃子部の部員たちが子どもと女性の犯罪被害防止や特殊詐欺の被害防止を呼びかけるパンフレットを来店した方々に配布しました。
出動式に先立ち行われた防犯功労者表彰式では、防犯活動に功労のあった9人と6団体の表彰式が行われました。受賞者は下記のとおり。



防犯功労者表彰を受賞された皆さん。

令和2年度防犯功労者表彰式
受賞者(敬称略)
▼秋田県防犯功労者
坂本丈夫、佐藤公平、武藤啓司
▼地区表彰(個人表彰)
山田輝穂、堀加知美、仙波一郎、小木田成喜、辻広勝、田中司
▼地区表彰(団体表彰)
仙北市角館防犯巡回隊、(株)瀧神巧業、(株)山建設工業、(有)津島ボイラー、(有)佐藤工務店、(有)高橋鉄工所

角館小学校におじゃましました



1年竹組の子どもたちは、給食時間の後半には5年梅組に。「舞茸まだある人?」の問いかけに「はい!」の返事。美味しそうに食べる様子を撮ることができました。

このほど、白岩地域運営体(菅原秀俊会長)の事業で栽培した原木舞茸が、学校給食で振る舞われました。
同運営体のこの栽培事業は今年で8年目を迎え、平成27年から学校給食で提供されています。
10月9日、市内小中学校の給食に「舞茸のすまし汁」が提供され、子どもたちは色や香りがよく、美味しい原木舞茸を終始笑顔で頬ばっていました。

白岩舞茸の美味しさ味わう



戦傷病者相談員の交代

前任者の退任により、戦傷病者の各種年金・給付金に関する相談、生活上の問題や利用可能な福祉制度などに関する相談を受ける戦傷病者相談員が交代となりました。

戦傷病者相談員(担当地区:仙北市、大仙市、美郷町)※敬称略
ふかや みやこ
深谷 都子 (大仙市大曲西根) ☎0187-68-2661
きもと しょういちろう
木元 正一郎 (大仙市下鶯野) ☎0187-56-4409